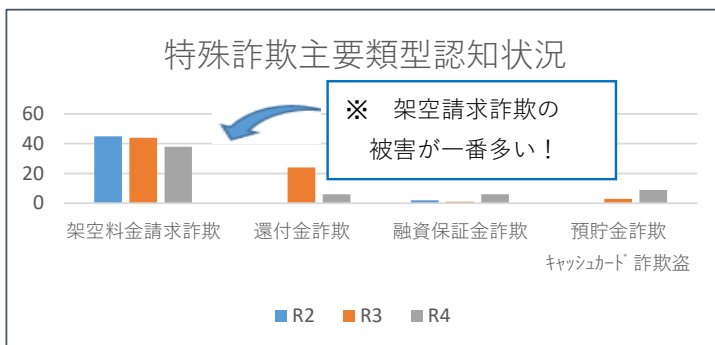


特殊詐欺被害の特徴

特殊詐欺主要類型認知状況

	R2	R3	R4	計	比率
架空料金請求詐欺	45	44	38	127	68%
還付金詐欺	0	24	6	30	16%
融資保証金詐欺	2	1	6	9	5%
預貯金詐欺 キャッシュカード詐欺盗	0	3	9	12	6%



架空請求詐欺被害の特徴

年代	人数	比率	年代/性別	人数	比率
70代以上	31	24%	50代以上	89	70%
50・60代	58	46%	男性被害	74	58%
30・40代	14	11%	女性被害	53	42%
20代以下	24	19%			

交付場所	件数	比率
コンビニ	95	75%
金融機関	20	16%

交付方法	件数	比率
電子マネー	86	68%
ATM振込	26	21%

切っ掛け	件数	比率
詐欺メール	61	48%
ワンクリック	45	35%
電話	16	13%



要求名目	件数	比率
利用料金の未納（有料サイト等）	49	39%
パソコンのウィルス除去名目	38	30%
当選金等の受取名目	22	17%

- 架空請求詐欺は、特殊詐欺の中でも最も被害が多く全体の約7割を占め、中でも、50代以上の方の被害が全体の7割を占めています。また、被害者の約6割が男性です。
- 被害の切っ掛けは、詐欺メールに騙されることが多く、パソコンやスマートフォンのインターネットをよく利用する方はワンクリック被害が多いようです。
- 要求名目は、有料サイト等の利用料金の未納、パソコンのウィルス除去名目が多く、それ以外にも当選金等の受取り名目で要求されています。
- 犯人は、お金を騙し取るのではなく、コンビニ等で「電子決済カードを買って下さい。」などと言って、電子マネーを購入させ、カードに記載された番号を連絡させることで電子マネーの額面を騙し取っています。この手口が全体の約7割と最も多くなっています。

重要 注意 重要 注意 重要 注意 重要 注意 重要 注意

※ ワンクリック被害とは、パソコンやスマートフォンでインターネットを見ている時、突然、「ウィルスに感染しました。」という画面が表示され、画面に表示された連絡先に電話をすると、ウィルス除去や保証費用等の名目でお金を要求されるものです。

※ メールも同様で、受信したメール画面に料金未納等の名目で連絡先が書いてありますが、表示された連絡先に電話をすると過去に利用したサイトの登録料や利用料金の支払いが未納などと説明され、支払うよう要求されます。



還付金詐欺被害の特徴

年代	人数	比率	性別	人数	比率	切っ掛け	交付方法
60代	30	100%	女性被害	29	97%	電話	ATM振込



- 被害者は、全員が60代で、そのほとんどが女性です。
- 被害の切っ掛けは、電話で「介護保険料の還付がある。手続きをするので金融機関（銀行・郵便局等）に行ってください。」などと言われ、ATMを操作させられた結果、気がつくと口座のお金を送金し、騙し取られていたというものです。この手口は、昨年から急増しています。

融資保証金詐欺被害の特徴

年代	人数	比率	年代/性別	人数	比率	切っ掛け	件数	比率	交付方法	件数	比率
70代以上	1	17%	男性被害	3	50%	メール	2	33%	ATM振込	5	83%
50・60代	1	17%	女性被害	3	50%	FAX	1	17%	金融機関窓口	1	17%
30・40代	3	50%				電話	1	17%			
20代以下	1	17%									

- 犯人は、年齢に関係なく、お金に困っている人をターゲットにしています。
- 被害の切っ掛けは、メールやFAX等で融資の案内を受け、連絡をとった結果、事務手数料、供託金、手付金等の名目で、何度も現金を騙し取られています。
- 騙し取られたお金は、金融機関のATMや窓口からの振込みをさせられています。

預貯金詐欺やキャッシュカード詐欺盗被害の特徴

年代	人数	比率	性別	人数	比率	切っ掛け	交付方法	被害品
70代以上	6	100%	女性被害	6	100%	電話	手交	キャッシュカード

なりすまし
に注意!



- 被害者は、70代以上の女性が被害に遭っています。
- 預貯金詐欺やキャッシュカード詐欺盗の犯人は、市役所などの官公庁職員、警察官や金融機関職員などになりすまして電話を掛けてきます。
- 手口の一例は、市役所職員になりすまし「あなたの口座が詐欺に利用されています」「保険料の還付金があります。どちらの金融機関を利用していますか」と電話をしてきた後、銀行職員になりすました犯人が自宅に来て、暗証番号を確認した上、キャッシュカードを受け取ったり、カードを入れさせた封筒と別の封筒と交換して騙し取り、現金を引き出すというものです。

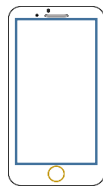
50代・60代・70代が被害の中心!

- このように県内の特殊詐欺の被害を見ると、若年層に比べ、中高年層の被害が多いことが分かります。その理由は、若年層は比較的、詐欺を疑う感覚が身についてきて、被害に遭いにくくなったことが考えられます。
- また、最近は、高齢者の被害が増加傾向にあります。これは、犯人が還付金詐欺、預貯金詐欺、キャッシュカード詐欺盗の標的を高齢女性にしていること、またパソコンウィルス除去名目の被害者に高齢者が多いことが理由だと考えられます。

被害に遭わないための方策

架空請求詐欺の被害に遭わないために！

どんなメール



ご利用料金の確認がとれておりません。
本日中に、
03-0000-0000
NTT・・・お客様
サポートセンターま
でご連絡下さい。



対策

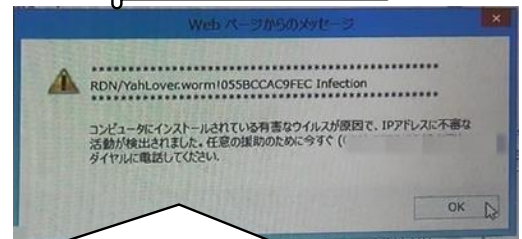
※ このようなメッセージやメールが届いても、表示された番号に電話をしたり、返信しないで下さい。身に覚えのない請求をされた場合は、まずは詐欺を疑い、家族や警察に相談を！！

ウイルス感染



コンピュータにインストールされている有害なウイルスが原因で、IPアドレスに不振な活動が検出されました。任意の援助のために今すぐ **(000-0000-0000)** ダイヤルに電話して下さい。

↓ 実際の画面



この警告画面は、インターネットをする **誰もが遭遇する可能性があります。**
突然、「ビービー」などと大音量の警告音が鳴る場合もあります。
日頃から、ウイルス対策ソフトを最新の状態にし、インターネット閲覧中は広告やリンクを不用意にクリックしないようにしましょう。



対策

※ このようなメッセージが表示された場合の対応！

- パソコンのインターネット回線を遮断する。(WiFiの切断等。)
- パソコンを再起動させる。警告画面が消えない場合は、ブラウザの閲覧履歴・キャッシュファイルを削除し、パソコンに詳しい販売店や修理業者、警察等に相談する。

※ **絶対に表示された番号に電話を掛けないで下さい！**

電子マネー



※ コンビニに行くと、こんな感じで陳列されています。



※ 電子マネーとは、現金を電子化したものを指し、コンビニで販売している電子マネーは、基本的に電子マネーのギフト券(カード)です。種類は豊富にあり、上記のような

「Google Playギフトカード」「BitCash(ビットキャッシュ)」「Appleギフトカード」などが有名です。

※ この電子マネーは、基本的にプレゼントか自分で使用するために購入するもので、**未払金の支払い(電子決済)に使用するものではありません。**

電子決済等という言葉に騙されないよう注意して下さい！

還付金詐欺の被害に遭わないために！

「市役所〇〇課の〇〇ですが、介護保険料の還付があります。」
「手続きをしますので、お近くのATMに行ってください。」
「ATMに着いたら、電話して下さい。」

詐欺です！



対策

- ※ 突然、「還付金（返金）があります」などと電話がかかることはありません。
- ※ 還付金（返金）の電話があれば、すぐに家族や知人、警察へ相談しましょう！
- ※ ATMの利用限度額を引き下げると、万が一だまされても被害を最小限に抑えることができます。
- ※ 自動録音や注意喚起アナウンスなどの詐欺対策機能電話機を設置しましょう。

融資保証金詐欺の被害に遭わないために！

対策

- ※ 会員登録をしていない企業や、過去に取引がない企業から突然送付されてくるダイレクトメール、電子メール、FAX、電話には十分注意して下さい。
- ※ 正規の貸金業者では、いかなる名目であっても、融資を前提にお金の振り込みを要求することはありません。

預貯金詐欺・キャッシュカード詐欺盗の被害に遭わないために！

対策

- ※ 犯人は、市役所などの官公庁職員、警察官、銀行職員を名乗って電話して、自宅に訪ねてきますが、本物なら決してキャッシュカードを預かったり、暗証番号を聞くことはありません。
- ※ 絶対にキャッシュカードやクレジットカード、通帳を渡さないで下さい！
- ※ 自動録音や注意喚起アナウンスなどの詐欺対策機能電話機を設置しましょう。



【最近はこの新しい詐欺の手口も・・・電子計算機使用詐欺！】

警察官や金融機関を装って電話をかけて、被害者から口座番号や暗証番号を聞き出し、被害者に気づかれないように、アプリを使って、被害者の口座をインターネットバンキングで使用できるようにした上で、被害者の口座から別の口座にお金を送金する詐欺被害が発生しています。

対策

- ※ 電話で、口座番号や暗証番号を教えない！
- ※ もし教えてしまったら、口座を解約する！